

A 伝わる案内図

基礎～標準 1 | 目安 20分 | 全8問 | 選択は記号に○

本文のページを横に並べると読みやすくなります。字数指定では句読点・かぎカッコも1字と数えます。

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

- ① 文化祭で初めて学校を訪れる人のために、案内図を作った。最初の案には、すべての教室名と催しの説明を入れた。ところが、試しに見てもらうと、文字が小さく、目的の場所がすぐには見つからなかった。情報を増やしたのに、案内の役目を十分に果たせなかったのである。
- ② そこで私たちは、来校者が入り口でまず知りたいのは何かを考えた。各階の主な催しと、階段やトイレの位置を大きく示すことにした。催しの詳しい説明は別の紙に載せ、案内図にはその紙の置き場所を書き添えた。必要な情報を捨てたのではなく、読む目的に合わせて分けたのである。
- ③ 修正した案を見た人は、行きたい場所までの道筋を指でたどれた。案内図から説明が減ったことで、移動に必要な目印が見つかりやすくなった。ただし、文字を減らせば必ず分かりやすくなるわけではない。目印まで消せば、かえって迷う人が増えるだろう。
- ④ 分かりやすく伝えるには、相手が何を知り、何をしようとしているかを考えたい。情報の量だけでなく、その場で役立つ情報を選び、残りの情報にもたどり着けるようにすることが大切なのだ。

問1 「最初の案内図で目的の場所が見つかりにくかったのはなぜですか」という問いでは、何を書く必要がありますか。一つ選びなさい。

- ア 案内図を作り直した手順
- イ 目的の場所が見つかりにくかった理由
- ウ 文化祭を見学した感想
- エ 筆者が参加したい催し

問2 ②段落から、詳しい説明を案内図と別の紙に載せた考え方を表す一続きの言葉を、十六字で抜き出しなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

A 伝わる案内図

基礎～標準 1 | 目安 20分 | 全8問 | 選択は記号に○ | つづき

本文は問題1ページ。字数指定では句読点・かぎカッコも1字です。

問3 最初の案内図で目的の場所が見つかりにくかった理由の根拠として、最も適切なものを一つ選びなさい。

ア 来校者がすべての催しを見ようとした。

イ 学校の階段やトイレが少なかった。

ウ すべての教室名と説明を入れ、文字が小さくなった。

エ 詳しい説明を載せた紙がなくなった。

問4 次の文の主語と述語のつながりを整えたものを一つ選びなさい。

「私たちの工夫は、詳しい説明を別の紙に載せた。」

ア 私たちの工夫は、詳しい説明を別の紙に載せたことだ。

イ 私たちの工夫は、詳しい説明が別の紙に載せた。

ウ 私たちの工夫は、詳しい説明を別の紙に載せたから。

エ 私たちの工夫は、詳しい説明に別の紙を載せた。

問5 「目印を残すこと。」の字数として正しいものを一つ選びなさい。句点も一字と数えます。

ア 五字

イ六字

ウ 七字

工八字

問6 ④段落の「残りの情報にもたどり着けるようにする」とは、この案内図ではどんな工夫をすることですか。二十字以上三十字以内で書きなさい。

[illegible]

A 伝わる案内図

基礎～標準 1 | 目安 20分 | 全8問 | 選択は記号に○ | つづき

本文は問題1ページ。字数指定では句読点・かぎカッコも1字です。

問7 修正した案内図で道筋をたどりやすくなったのはなぜですか。説明と目印の関係に触れ、三十字以上四十五字以内で、文末を「から。」として書きなさい。

下書き 必要な内容を整理しよう。

20

40

45

問8 次のまとめには、本文と合わない部分があります。本文の考えに合うように、二十五字以上四十字以内で書き直しなさい。

「案内図は、文字や目印をできるだけ減らせば必ず分かりやすくなる。」

下書き 必要な内容を整理しよう。

20

40

B 合奏の入り口

基礎～標準 2 | 目安 25分 | 全8問 | 選択は記号に○

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

① 合奏の練習で、私は入りの合図を二度続けて見落とした。隣で笛を吹く遙は、何も言わずに楽譜の小節を指した。私はうなずいたが、休憩になると、「もう分かっている」と小さく言った。みんなより遅れているところを見られたくなかった。

② 休憩のあと、遥は自分の楽譜を私に見せた。音符の上には、小さな矢印がいくつも書かれていた。「ここ、私もよくずれるから。先生が顔を上げるところに印を付けたんだ。」遥の声は、ふだんと変わらなかった。私は、間違えるのは自分だけだと思い込んでいたことに気付いた。

③「一回、そこだけ合わせてもいい？」私が聞くと、遙は笛を置いて、指で拍子を取った。私は楽譜に一つだけ矢印を書いた。次の演奏では合図が見え、二人の音が重なった。いつもより大きな音が出たわけではない。それでも、息を吐いたあとの胸は軽かった。

④ 片付けのとき、私は「さっきは、ありがとう」と言った。遥は「今度は私が遅れたら、教えて」と笑った。私は、自分の楽譜を閉じる前に、矢印の横へ小さく丸を付けた。その丸は、間違いを隠すためのものではなかった。

問1 「私」の気持ちを本文に基づいて説明するときの答え方として、適切なものを一つ選びなさい。

ア 自分も合奏で失敗した経験を詳しく書く。

イ 遥が考えていたことだけを想像して書く。

ウ「私」の言葉や行動と、その前後の出来事を結び付ける。

エ「私」は最初からうれしかったと決めて書く。

問2 ①段落から、「私」が弱みを見せたくなかったことが直接分かる一文を、句点を含めて抜き出してください。

B 合奏の入り口

基礎～標準 2 | 目安 25分 | 全8問 | 選択は記号に○ | つづき

本文は問題4ページ。字数指定では句読点・かぎカッコも1字です。

問3 ②段落から読み取れることを一つ選びなさい。

ア 遙は「私」の失敗をほかの人に言いふらした。

イ 遥は先生に頼まれて「私」を注意した。

ウ 遥は一度も演奏を間違えたことがなかった。

工 遙も間違ふことがあり、合図を見やすくする工夫をしていた。

問4 「私」が部分練習を頼んだ理由を答える文として、文末まで整っているものを一つ選びなさい。

ア 遥にも間違いがあると知り、一緒に練習したいこと。

イ 遥にも間違いがあると知り、一緒に練習したいと思ったから。

ウ 遙にも間違いがあると知り、一緒に練習したい人。

工 遥にも間違いがあると知り、一緒に練習したいとき。

問5 ③段落の「そこだけ」は、どのような部分を指しますか。十五字以上二十五字以内で書きなさい。

下書き 必要な内容を整理しよう。

[illegible]

B 合奏の入り口

基礎～標準 2 | 目安 25分 | 全8問 | 選択は記号に○ | つづき

本文は問題4ページ。字数指定では句読点・かぎカッコも1字です。

問6 ③段落で「胸は軽かった」のはなぜですか。練習前の不安と、練習でできたことに触れ、三十五字以上五十字以内で、文末を「から。」として書きなさい。

下書き 必要な内容を整理しよう。

																				20
																				40
										50										

問7 最後の丸を「遙に勝つための印」と説明した答えが適切でない理由を一つ選びなさい。

ア 互いに教え合う会話はあるが、競争の目的は示されていないから。

イ 本文に丸の色や大きさが詳しく書かれていないから。

ウ 遙が使った印は丸ではなく矢印だから。

エ 合奏では、どんな気持ちも文章で説明できないから。

問8 初めと終わりで、「私」の間違いへの向き合い方はどう変わりましたか。「初めは」と「今は」を使い、四十字以上五十五字以内で書きなさい。

下書き 必要な内容を整理しよう。

[illegible]

C 直し跡のある道具

発展・応用 | 目安 25分 | 全8問 | 選択は記号に○

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

- ① 祖父の作業台には、持ち手に布を巻いた古いほうきがある。私はそれを見るたび、新しい物に替えればよいのにと考えていた。穂先は不ぞろいで、店に並ぶほうきのような整った形ではない。
- ② ある日、庭の落ち葉を集めようとして、そのほうきを使った。布を巻いた持ち手は手に収まり、穂先は石の間の細かな葉にも届いた。祖父は「折れた所を短くしているうちに、ここを掃くのにちょうどよくなった」と言った。傷んだ所を直した結果、この庭で使いやすい形になったのだ。
- ③ もちろん、古い道具なら何でも使い続ければよいわけではない。持ち手が割れて危険なら、修理できるか確かめ、難しければ替える必要がある。私が見直したのは、古さそのものの価値ではない。手を加えながら使ううちに、道具と使う場所との関係が変わっていくことだった。
- ④ 新しい物を選ぶとき、私たちは形や機能を比べる。一方、直しながら使うときには、自分がどう使ってきたかを振り返る。ほうきの布や不ぞろいな穂先は、祖父が庭と道具に合わせて工夫した跡でもある。私は片付ける前に、ほどけかけていた布の端を巻き直した。

問1 「私が見直したもの」を説明する問いに対し、中心にすべき内容を一つ選びなさい。

- ア 手を加えて使うことで変わる、道具と場所との関係
イ 古い道具のほうが新しい物より修理が簡単なこと
ウ 使う場所より、使い慣れた人の好みが大切なこと
エ 店と同じ形に戻すことに、修理の価値があること

問2 ③段落から、道具を替える前に確かめることを表す六字の言葉を抜き出ささい。

--	--	--	--	--	--

6

C 直し跡のある道具

発展・応用 | 目安 25分 | 全8問 | 選択は記号に○ | つづき

本文は問題7ページ。字数指定では句読点・かぎカッコも1字です。

問3 ②段落の「手に収まり」とは、ここではどのようなことですか。十字以上二十字以内で説明しなさい。

[illegible]

問4 「この庭で使いやすくなった理由」の答えに入れる必要がない内容を一つ選びなさい。

- ア 折れた穂先を短くしてきたこと
イ 穂先が石の間の細かな葉にも届くこと
ウ 最後に「私」が持ち手の布を巻き直したこと
エ 修理の結果、庭に合う形になったこと

問5 ほうきが「この庭で使いやすい形になった」のはなぜですか。修理と働きの関係が分かるように、三十字以上四十五字以内で、文末を「から。」として書きなさい。

下書き 必要な内容を整理しよう。

[illegible]

問6 ③段落をまとめた次の答えの問題点を一つ選びなさい。

「使い慣れた古い道具は、危険でも必ず使い続けるべきだ。」

- ア 不ぞろいな見た目を、庭での使いにくさと結び付けている。
イ 手を加えて使うことを、古さを隠すための行為と捉えている。
ウ 使う場所に合わせる工夫を、見た目を整える工夫と捉えている。
エ 本文が認めている、修理や交換が必要な場合を無視している。

C 直し跡のある道具

発展・応用 | 目安 25分 | 全8問 | 選択は記号に○ | つづき

本文は問題7ページ。字数指定では句読点・かぎカッコも1字です。

問7 ④段落では、新しい物を選ぶときと、道具を直しながら使うときに、何に目を向けると述べていますか。両方に触れ、三十五字以上五十字以内で書きなさい。

下書き 必要な内容を整理しよう。

[illegible]

問8 最後に「私」が布の端を巻き直したことには、どのような考え方の変化が表れていますか。初めの考えと比べ、四十字以上五十五字以内で書きなさい。

下書き 必要な内容を整理しよう。

D 休憩所をどこに置くか

定期テスト対策 | 目安 30分 | 全8問・100点 | 選択は記号に○

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

- ① 地域の公園で、休憩用のベンチを置く場所について意見を集めた。「入り口の近く」「池のそば」「広場の端」と案は分かれた。すぐに多数決をすれば、一つの場所は決まる。しかし、場所の名前だけでは、なぜそこに置きたいのかは分からない。
- ② そこで、係の人は「どのようなときに座りたいですか」と聞き直した。入り口を挙げた人は、待ち合わせで立ち続けるのがつらいと話した。池のそばを挙げた人は、散歩の途中で日差しを避けたいと話した。広場の端を挙げた人は、遊ぶ子どもを見守りながら休みたいと話した。
- ③ 理由を聞くと、別々に見えた案に「必要な場所で、無理なく休めるようにしたい」という共通の願いがあると分かった。ただし、日陰を求める人と広場を見渡したい人では、望む条件が同じとは限らない。共通点を見つけたからといって、違いまで消してはいけない。
- ④ 係の人は、日陰の時間や通路の広さ、広場の見え方を現地で確かめることにした。まだ設置場所は決めていない。理由から分かった条件を整理し、それぞれの候補地がどの条件を満たすか比べてから、話し合う予定だ。
- ⑤ 意見が分かれたときは、案の数だけでなく、その案が応えようとする困り事に目を向けたい。共通の願いと残る違いを確かめれば、単に勝ち負けを決めるだけで終わらない話し合いにつながる。

問1〔8点〕 「なぜ場所の名前だけで決めないのか」という問いへの答えに必要な内容を一つ選びなさい。

- ア 自分が休憩所を置きたい場所
- イ ベンチを製作する手順
- ウ 場所の名前だけでは分からないこと
- エ 話し合いで最終的に決まった場所

問2〔8点〕 ③段落から、三つの案に共通する願いを、かぎかっこを付けずに抜き出しなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

20

D 休憩所をどこに置くか

定期テスト対策 | 目安 30分 | 全8問・100点 | 選択は記号に○ | つづき

本文は問題10ページ。字数指定では句読点・かぎカッコも1字です。

問3〔10点〕 本文に基づく説明として適切なものを一つ選びなさい。

- ア 共通の願いが見つかったので、望む条件も同じだと分かる。
イ 共通の願いがあっても、求める条件には違いがある。
ウ 現地を調べるのは、最も多かった案の正しさを確かめるためだ。
エ 望む条件の違いをなくしてから、候補地を比べる予定である。

問4〔10点〕 次の答えを、意味を変えずに自然な文に直したものを一つ選びなさい。

「係の人の予定は、現地の条件を比べてから話し合う。」

- ア 係の人の予定は、現地の条件が比べてから話し合う。
イ 係の人の予定は、現地の条件を比べる人だ。
ウ 係の人の予定は、現地の条件を比べてから話し合うから。
エ 係の人の予定は、現地の条件を比べてから話し合うことだ。

問5〔10点〕 次の解答の問題点として最も適切なものを一つ選べなさい。

「日陰と通路の広さを調べた結果、全員が同じ場所に賛成した。」

- ア まだ書かれていない調査結果や賛成の事実を加えている。
イ 日陰だけを調査し、通路の広さを確かめないと述べている。
ウ 賛成を得るには多数決が必要だと決め付けている。
エ 通路の広さよりも日陰を優先すると断定している。

問6〔16点〕⑤段落の「その案が応えようとする困り事に目を向けたい」とは、何をすることですか。二十五字以上四十字以内で、文末を「こと。」として書きなさい。

下書き 必要な内容を整理しよう。

[illegible]

D 休憩所をどこに置くか

定期テスト対策 | 目安 30分 | 全8問・100点 | 選択は記号に○ | つづき

本文は問題10ページ。字数指定では句読点・かぎカッコも1字です。

問7〔18点〕 共通の願いが分かって、候補地の条件を比べる必要があるのはなぜですか。人々が望む条件の違いに触れ、三十五字以上五十字以内で、文末を「から。」として書きなさい。

下書き 必要な内容を整理しよう。

20

40

50

問8〔20点〕 筆者は、意見が分かれたとき、どのように話し合うことが大切だと考えていますか。「理由」と「違い」を使い、四十五字以上六十字以内で書きなさい。

下書き 必要な内容を整理しよう。

20

40

60